

款 8 土木費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
19,918,627,000 円	18,908,231,944 円	94.9%	879,319,870 円	131,075,186 円

項 1 土木管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
908,650,000 円	894,098,040 円	98.4%	0 円	14,551,960 円

目 1 土木総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
908,650,000 円	894,098,040 円	98.4%	0 円	14,551,960 円

〔一般職給〕 8 4 人 703,765,726 円（県支出金 2,114,170 円）
 （その他特財 18,960,304 円）
 〔嘱託職給〕 1 人 3,541,808 円

（建築指導課 [旧建築開発課]）

目的	法律等に基づき建築物の安全を確保し良好な住環境とする				
指標	完了検査合格率	目標	90%	実績	86.6% (17年度 85.9%)
説明	建築物の安全性の確保及び違反建築物の防止に資する観点から完了検査合格率の向上が重要であると捉え、必要な普及、啓発を行いました。工事監理者、建築主に対してハガキ、電話での通知、督促等を実施し平成 17 年度より増加しましたが、目標値には及びませんでした。指定確認検査機関への申請が増加しているため、指定確認検査機関にも完了検査合格率向上のため依頼を行いました。				

〔建築指導事務費（建築確認支援システム）〕 3,631,320 円（その他特財 3,631,320 円）
 〔委員報酬〕 86,900 円

- ・ 建築審査会委員 7 人
- ・ 旅館建築審査会委員 5 人

完了検査合格率の推移

	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度
四日市市	81.2%	81.4%	85.9%	86.6%
全国平均	70.7%	73.0%	76.1%	-

その他経費

〔建築指導事務費（定期報告・防災関係・耐震相談等）〕 874,155 円（その他特財 874,155 円）
 耐震改修に関する学習会、相談会経費（8 会場）
 〔建築指導事務費〕 6,537,863 円（県支出金 109,000 円）
 その他特財 6,428,863 円
 〔全国建築審査会協議会等負担金等〕 348,000 円（その他特財 348,000 円）

(市街地整備・公園課)

目的	道路後退用地整備による住環境の向上				
指標	総延長に対する累計整備延長	目標	3.68%	実績	3.66% (17年度 3.43%)
説明	狭あい道路対策として道路拡幅用地の寄附を受け道路整備を進めています。平成18年度はメートル当たり施工費の高い工事があったため、累計整備延長は目標を0.02%下回りました。				

〔狭あい道路対策費〕

141,532,007円

狭あい道路後退用地整備事業実績

区 分	寄 付	舗装等の整備	助成金の交付	件 数
件数(件)	182件	132件	測量分筆登記	146件
延長(m)	3,637m	2,775m	支障物件除去	80件
面積(m ²)	2,687m ²	1,848m ²		

(営繕工務課)

目的	安全で使いやすい公共建築物等を提供する				
指標	工事完成後、概ね1年間における不具合発生率	目標	0%	実績	2.1%(2件/97件) (17年度 1.1%、1件/94件)
説明	各部署から依頼された建築物等の新築、増築、改修、耐震補強工事及び設備工事の設計、監督を行いました。 この業務を行うに際しては、安全で使いやすい施設であることはもちろんのこと、コスト縮減、環境負荷の低減に配慮するとともに、バリアフリー化に努めました。不具合発生率については、2.1%(補修済み)でしたが、不具合の内容を把握して今後の業務に活かし、不具合率0%達成に努めます。				

〔営繕事務費〕

3,728,087円

〔公共建築協会等負担金〕

247,200円

営繕受託業務の状況

区 分	主 な 工 事・委 託	計
総務部関係施設	安島防災備蓄倉庫新築工事 小牧西児童集会所空調設備改修工事 赤堀児童集会所相談室改修工事	4件
税務理財部関係施設	市庁舎冷温水発生機補修整備工事 市庁舎間仕切り設置工事 市庁舎耐震改修工事	4件
市民文化部関係施設	文化会館耐震補強工事 文化会館ホール吊り物更新工事 日永地区市民センター空調設備改修工事	10件
楠総合支所関係施設	楠緑地体育館改修工事 楠避難会館改築工事 楠公民館バリアフリー等整備工事	7件
保健福祉部関係施設	西浦保育園便所等改修工事 高花平保育園ウッドデッキ改修工事 河原田保育園乳児室改修工事	7件

商工農水部関係施設	勤労青少年ホーム耐震補強工事 食肉センター2階連絡通路設置工事 競輪場ジョイフルスペースリフレッシュ工事	16件
環境部関係施設	北大谷斎場火葬施設整備工事	1件
都市整備部関係施設	茂福市営住宅耐震補強工事 高花平市営住宅住戸改善等工事 坂部が丘市営住宅サッシ改良工事	16件
教育関係施設	楠小学校改築工事 常磐小学校校舎増築外工事 海蔵小学校校舎増築工事 富田中学校バリアフリー化工事	38件
消防関係施設	(仮称)中消防署中央分署消防活動支援センター 整備事業実施設計業務委託	1件
合計		104件

(道路整備課)

〔土木積算システム業務費〕

6,071,873円(その他特財 1,103,000円)

(用地課)

〔未登記道路調査事業費〕

20,309,440円

未登記道路を解消するための調査、測量および登記等を行う費用

項2 道路橋梁費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,299,397,000円	1,954,392,295円	85.0%	323,172,570円	21,832,135円

目1 道路橋梁総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
227,738,000円	217,933,931円	95.7%	0円	9,804,069円

〔一般職給〕

17人

155,500,524円

(都市計画課)

目的	広域幹線道路の整備促進				
指標	事業進捗状況	目標	早期整備	実績	国道477号バypass進捗率 67.9% (17年度 64.0%)
説明	第二名神高速道路、東海環状自動車道及び国道1号北勢バイパス並びに国道477号バイパス等の整備促進を図るため、各期成同盟会による国、県、関係機関への要望や啓発イベントを行うとともに、各事業路線の事業進捗のため、関係機関と事業調整及び関係地区への事業説明を行いました。また、同盟会を再編し重要路線要望に活動を絞り込みました。実績は国道477号バイパスを代表としました。				

路線名	17年度進捗率（進捗状況）	18年度進捗率（進捗状況）
第二名神高速道路	四日市 JCT～亀山間が中日本高速道路株の建設する道路に指定され、四日市 JCT～四日市北 JCT は平成 27 年度、四日市北 JCT～亀山 JCT 間は平成 30 年度完成予定となった。	中日本高速道路株が四日市 JCT～菰野 IC 間で設計計画の地元説明、公図混乱地調査に、菰野 IC～亀山 JCT 間で測量、土質調査に着手した。
国道 1 号北勢バypass	<ul style="list-style-type: none"> 三岐鉄道跨線部が完成 本線下部工事を推進 富田山城線～国道 477 号バypass間の地区説明を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 大矢知地区内の本線下部、上部工事を推進 富田山城線～国道 477 号バypass間の地元協議成立箇所から用地立会に着手
富田山城線	98.3%	100.0%
国道 477 号バypass	64.0%	67.9%

〔負担金〕

- 三重県北勢地域幹線道路事業促進連絡協議会 1,260,000 円
- 日本道路協会等負担金 1,281,000 円
- 広域基幹道路整備基金積立金 5,779,456 円（その他特財 5,779,456 円）

〔管理課〕

〔道路台帳整備事業費〕 14,313,600 円
市道 7,716 路線 2,121.3 km

〔用地課〕

目的	道路・河川・水路・公園の官民境界査定				
指標	処理件数	目標	1,100 件	実績	1,066 件
	処理日数		25 日		40 日
					(17 年度 1,019 件 34 日)
説明	市が管理する道路・河川・水路・公園（官地）と、それに接した土地（民地）との境界線について、現地で立会いを行い確認しました。処理日数が目標を達成できなかった理由は、第二名神高速道路など大規模な土地に関する境界立会いを行うための事前調査及び協議に時間を要したこと、また、関係者から土地の成り立ちなど詳細な資料による説明を求められることが多くなり事前調査に時間を要したことによるものです。				

〔境界査定業務費〕 1,516,355 円

〔その他経費〕

〔負担金〕 134,800 円
・用地対策連絡協議会等負担金

目 2 道路維持費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
467,796,000 円	464,908,280 円	99.4%	0 円	2,887,720 円

〔一般職給〕 14 人 113,952,232 円
〔再任用職給〕 2 人 7,732,616 円

〔道路整備課〕

目的	道路の維持				
指標	道路損傷個所での事故件数	目標	30件未満	実績	15件 (17年度 18件)
説明	安全で円滑な交通を確保し、道路瑕疵による交通事故を抑制するため計画的な道路パトロールを実施し、道路損傷個所の早期発見と早期補修に努めました。				

〔道路雪氷対策費〕 7,482,300円 委託料(9件) 6,096,300円
 需用費(融雪剤) 1,386,000円

〔道路維持修繕費〕 315,303,797円 委託料(108件) 279,153,840円
 原材料費(134件) 28,599,146円
 負担金(1件) 6,836,000円
 道路事故賠償金(15件) 714,811円

(管理課)

〔駐車場案内システム管理運営費〕 10,789,200円
 中央通り2箇所外 ブロック案内板8基・進入路案内板4基・個別案内板19基など(市管理分)

目3 道路新設改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,215,828,000円	905,373,892円	74.5%	303,922,570円	6,531,538円

〔一般職給〕 4人 26,657,536円

(道路整備課)

〔明許繰越〕 169,414,000円

〔地方道路整備臨時交付金事業費(道路)〕 73,920,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大鐘19号線 (大鐘町地内) 地方特定道路整備 事業(道路)と合併 施工	工事費 L=505m W=11.0m ブロック積工 A=1,436 m ² 水路工 L=975.7m 舗装工 A=4,540 m ²	19,660,000	国庫支出金 市 債	40,656,000 33,200,000
・山村平津線 (千代田町及び山分 町地内)	用地費 A=1,043.51 m ² 補償費 物件移転補償6件 事務費	54,260,000		
地方道路整備臨時交付金事業費(道路) 計		73,920,000		73,856,000

〔地方特定道路整備事業費(道路)〕

70,999,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大鐘19号線 (大鐘町地内) 地方道路整備臨時 交付金事業(道路) と合併施工	工事費 L=505m W=11.0m ブロック積工 A=1,436 m ² 水路工 L=975.7m 舗装工 A=4,540 m ² 事務費	58,219,000	市 債	63,900,000
・阿倉川西富田線 (別名四丁目及び別名 五丁目地内)	工事費 L=123.9m W=16.0m 側溝工 L=361.7m 舗装工 A=2,085 m ²	12,780,000		
地方特定道路整備事業費(道路) 計		70,999,000		63,900,000

〔道路改良単独事業費〕

24,495,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大矢知富田1号線 (西富田町地内)	工事費 L=133.4m W=7.85~11.75m 函渠工 L=132.0m 防護工 L=14.0m 舗装工 A=927 m ² 用地費 A=5.14 m ² 補償費 物件移転補償 1件	18,280,000		
・阿倉川西富田線 (別名四丁目及び 別名五丁目地内)	工事費 L=123.9m W=16.0m 側溝工 L=361.7m 舗装工 A=2,085 m ² 事務費	3,530,000		
・山村平津線 (千代田町及び山分町 地内)	用地費 A=69.46 m ²	2,685,000		
道路改良単独事業費 計		24,495,000		

(道路整備課)

目的	幹線道路の整備				
指標	幹線道路の整備延長	目標	1,848 m	実績	1,082 m
説明	快適な市民生活及び円滑な経済活動を支えるための市内幹線道路ネットワークの整備に取り組みました。平成18年度は山村平津線、大鐘19号線等の早期整備に努めました。平成18年度の実績については、用地交渉の難航や施工協議の遅れにより、翌年度へ繰越したために目標を下回りました。				

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
山村平津線	平成 8 年度～平成 22 年度	79.9%
大鐘 19 号線	平成 9 年度～平成 19 年度	90.8%
小杉新町 2 号線	平成 18 年度～平成 22 年度	6.5%
東坂部 20 号線	平成 16 年度～平成 19 年度	77.3%

〔 地方道路整備臨時交付金事業費(道路) 〕

206,680,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ 山村平津線 (千代田町及び 山分町地内)	委託料 建物調査業務 工事費 L=120.7m W=14.0m 橋台工 1 基 排水工 L=287.8m 函渠工 L=127.1m 擁壁工 L= 22.8m 管渠工 L= 46.6m 用地費 A=746.57 m ² 補償費 物件移転補償 2 件 事務費 (一部平成 18 年度 明許繰越)	102,670,000	国庫支出金 市 債	113,674,000 93,000,000
・ 大鐘 19 号線 (中村町外 2 町地内) 地方特定道路整備 事業(道路)と合併 施工	工事費 L=205.0m W=11.0m 水路工 L=336.8m 函渠工 L=15.0m 舗装工 A=3,862 m ² 事務費 (一部平成 18 年度 明許繰越)	4,660,000		
・ 小杉新町 2 号線 (東坂部町及び 山之一色町地内)	委託料 測量調査設計業務 用地費 A=446.48 m ² 補償費 物件移転補償 1 件 事務費 (一部平成 18 年度 明許繰越)	40,430,000		

・東坂部20号線 (東坂部町地内)	工事費 L=194.1m W=16.0m 側溝工 L=375m 擁壁工 L=202m 舗装工 A=4,061 m ² 用地費 A=887.57 m ² 事務費 (一部平成18年度 明許繰越)	58,920,000		
地方道路整備臨時交付金事業費(道路) 計		206,680,000		206,674,000

〔地方特定道路整備事業費(道路)〕 47,523,900円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
			市	債
・大矢知富田線 (大矢知町地内)	工事費 L=135.0m W=16.0m 排水工 L=280.0m 舗装工 A=1,840 m ² 用地費 A=24.39 m ² 補償費 物件移転補償 2件 事務費 (一部平成18年度 明許繰越)	7,733,900		47,500,000
・大鐘19号線 (大鐘町外3町地内) 地方道路整備臨時 交付金事業(道路) と合併施工	委託料 調査設計業務 工事費 L=496.0m W=11.0m ブツ積工 A=196 m ² 水路工 L=723.8m 函渠工 L=15.0m 舗装工 A=6,238 m ² 事務費 (一部平成18年度 明許繰越)	39,790,000		
地方特定道路整備事業費(道路) 計		47,523,900		47,500,000

〔石油貯蔵施設立地対策等交付金事業費〕 26,268,900円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
			県支出金	
・阿倉川西富田線 (山手町外4町地内)	工事費 L=731.5m 平均W=7.2m 舗装工 A=4,040 m ²	26,268,900		24,000,000

〔県営事業負担金〕 4,722,300 円

・国道306号線外6線 道路整備事業に伴う三重県への負担金

〔公社健全化事業費〕 2,637,306 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・新開橋整備事業 用地取得事業	用地費 特別会計繰出金	2,637,306		

目的	生活に身近な準幹線道路の整備				
指標	整備延長	目標	120 m	実績	0 m
説明	幹線道路の整備効果を高める目的で幹線道路へ接続する補助幹線的な生活道路の整備に取り組みました。事業初年度の平成18年度は、下海老寺方線、日永東日野線の設計業務を実施しました。平成18年度の実績が目標を下回った要因は、鉄道事業者との踏切協議に時間を要し、踏切前後の取付工事ができなかったためです。				

〔地方特定道路整備事業費(道路)〕 19,520,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・下海老寺方線 (寺方町外2町地内)	委託料 測量調査設計業務 事務費 (一部平成18年度 明許繰越)	19,520,000	市 債	19,500,000

〔準幹線道路整備事業費〕 8,235,150 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・日永東日野線 (日永西一丁目 外3町地内)	委託料 測量設計業務 (一部平成18年度 明許繰越)	8,235,150		

目的	一般市道の整備				
指標	整備延長	目標	5,966 m	実績	7,495 m
説明	地域からの要望に応えることにより、道路が良くなっていると実感できる道づくりに取り組んでいます。平成18年度は、山村平津線の整備に併せて平津23号線を整備しました。また、居住地域内の狭小道路は、緊急時の防災活動等や市民生活の安全性の向上に支障を来していることから、鹿間采女線、小山7号線等の道路整備や追分石原線の再舗装等に努めました。				

〔道路改良単独事業費〕 230,087,486 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・鹿間采女線 (南小松町及び采女 町地内)	委託料 測量設計業務等 工事費 L=115.2m W=5.0m	20,450,436	市 債	99,600,000

	側溝工 L=225.5m 舗装工 A=470 m ² 補償費 物件移転補償 3 件		
・平津 2 3 号線 (平津町地内)	工事費 L=41.6m W=5.0m 擁壁工 L=63.7m 排水工 L=43.5m 舗装工 A=340 m ² 用地費 A=190.3 m ²	16,074,600	
・小山 7 号線 (小山町地内)	工事費 L=85.0m W=4.0m 側溝工 L=156.7m 舗装工 A=280 m ² 補償費 物件移転補償 7 件	14,768,617	
・西富田 7 号線外 3 3 線 (市内一円)	委託料・工事費 用地費・補償費 負担金・事務費 (一部平成 1 8 年度 明許繰越)	178,793,833	
道路改良単独事業費 計		230,087,486	99,600,000

〔道路舗装事業費〕

178,799,680 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
〔新設〕 ・高角 3 0 号線 ・智積 7 1 号線	工事費 舗装新設工 A=1,465 m ² L=658 m	3,976,350	
〔再舗装〕 ・追分石原線 外 2 5 線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=17,568 m ² L=3,102 m (一部平成 1 8 年度 明許繰越)	86,147,250	
〔舗装付帯〕 ・阿倉川野田線 外 4 8 線 (市内一円)	委託料 (11 件) 測量業務 工事費 (39 件) 側溝等排水施設工 L=2,343m 擁壁工 L= 38m 負担金 (1 件) 事務費	88,676,080	
道路舗装事業費 計		178,799,680	

(市街地整備・公園課)

〔地区計画道路整備事業費〕 3,208,290 円

路線名	事業内容	実施額
赤堀新正6号線	道路築造工事(片側拡幅) 幅員 8 m 延長 170m	3,208,290
小林地区内道路	用地測量 1式	

〔午起土地区画整理事業関連道路整備事業費〕 5,100,000 円

路線名	事業内容	実施額
午起2号線	歩道築造工事 幅員 4 m 延長 267m	5,100,000

午起土地区画整理事業区域に隣接する部分の歩道整備を行いました。

(管理課)

〔私道整備補助金〕 3,176,880 円

・大矢知町地内 外3件

目4 橋梁維持費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,880,000 円	2,852,850 円	99.1%	0 円	27,150 円

(道路整備課)

目的	橋梁の整備				
指標	補修橋梁数	目標	3 橋	実績	4 橋
説明	六谷橋隅切部の補修改良及び山城2号自歩道橋、川島橋、市管理橋の再塗装を実施し、橋梁施設の延命化を図り維持管理に努めました。				

〔橋梁修繕工事費〕 2,852,850 円

目5 橋梁新設改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
385,155,000 円	363,323,342 円	94.3%	19,250,000 円	2,581,658 円

(道路整備課)

〔明許繰越〕 70,155,000 円

〔橋梁整備単独事業費〕 70,155,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
----------------	------	-----	--------

<p>・日永跨線橋 (大字日永外1町地内)</p>	<p>委託料 落橋防止装置検討及び設計 橋台 2基 橋脚 11基 変位制限装置検討及び設計 橋台 2基 橋脚 11基 橋脚耐力照査及び耐震設計 2基 工事費 L=278.7m 橋脚補強工 2基 落橋防止工 6個所 変位制限工 24個所 事務費</p>	13,717,850		
<p>・内堀橋 (内堀町外1町地内)</p>	<p>工事費 L=102.4m W=6.5m 落橋防止工 6個所 変位制限工 12個所 沓座拡幅工 6個所 橋梁補修工 一式 事務費</p>	10,780,850		
<p>・曙跨線橋 (曙一丁目外2町地内)</p>	<p>工事費 L=11.4m W=17.0m 落橋防止工 沓座拡幅鋼製ブラケット取付工 50組 橋台補修工 コンクリート断面修復工 9.6 m² コンクリート壁面塗装工 90.8 m² 負担金 事務費</p>	35,668,692		
<p>・その他</p>	<p>委託料 工事費 事務費</p>	9,987,608		
<p>橋梁整備単独事業費 計</p>		70,155,000		

目的	橋梁の整備				
指標	落橋防止整備済橋梁数(累計)	目標	35橋 (18年度7橋)	実績	31橋 (18年度3橋)
説明	<p>近い将来発生が危惧されている東海・東南海・南海地震等の大規模地震災害に備え、緊急輸送道路・防災連絡道路をはじめ市街地や主要路線上の橋梁の耐震化を橋梁耐震化計画の優先順位に従い計画的に実施しています。</p> <p>平成18年度の成果としては、内堀橋の落橋防止対策工事を完成させ、三重橋の設計業務を実施しました。また、新市計画プランに基づく磯津橋については、橋梁下部の</p>				

補強工事に着手しました。指標に掲げている落橋防止済橋梁数の実績については整備対象としている橋梁が鉄道事業者及び国土交通省との協議に時間を要し次年度へ繰越したため目標を下回りました。

〔石原南五味塚線（磯津橋）橋梁整備事業費〕 247,826,250 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・磯津橋 (大字塩浜(磯津)～ 塩浜町地内)	工事費 橋脚補強工 3 橋脚 梁補強工 3 橋脚	247,826,250	市 債	247,800,000

〔地方道路整備臨時交付金事業費(橋梁)〕 22,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・御園跨線橋	工事費 落橋防止工 2 箇所 変位制限工 2 箇所 事務費	4,674,000	国庫支出金 市 債	12,100,000 9,900,000
・海山道跨線橋	委託料 耐震補強設計業務	5,326,000		
・日永跨線橋	工事費 橋脚補強工 2 基 落橋防止工 6 箇所 変位制限工 24 箇所 事務費	12,000,000		
地方道路整備臨時交付金事業費(橋梁) 計		22,000,000		22,000,000

〔橋梁整備単独事業費〕 23,342,092 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三重橋 (桜町及び菰野町 地内)	委託料 測量調査設計業務	10,293,740	市 債 その他特財	17,700,000 4,663,575
・つんつく大橋 (日永西一丁目及び 日永西二丁目地内)	委託料 耐震設計業務 工事費 L=32.0m W=16.0m 落橋防止工 9 箇所 変位制限工 7 箇所 (一部平成18年度 明許繰越)	8,433,292		
・その他	委託料 工事費 負担金 (一部平成18年度 明許繰越)	4,615,060		
橋梁整備単独事業費 計		23,342,092		22,363,575

項3 交通安全対策費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
289,333,000円	288,296,051円	99.6%	0円	1,036,949円

目1 交通安全対策総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
129,861,000円	129,061,660円	99.4%	0円	799,340円

〔一般職給〕 4人 37,281,820円
 〔嘱託職給〕 1人 2,578,507円

(管理課)

目的	交通安全に関する啓発事業を実施する				
指標	交通安全に関する講習会等の実施回数	目標	65回	実績	65回 (17年度52回)
説明	高齢者の関連する死亡事故が増加していることから、高齢者に啓発の力点をおいて各種教室や講座を実施しました。その結果、交通事故発生件数も昨年より減っております。				

〔交通安全啓発推進費〕 2,124,266円

<参考> 交通事故発生状況(県警本部交通統計による。暦年)

区分	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
発生件数(件)	11,539	11,686	11,870	12,134	11,807	12,039	12,271	12,076	11,832
人身事故	件数(件)	1,871	2,043	2,187	2,188	2,232	2,328	2,512	2,476
	死者(人)	22	27	26	20	18	14	23	22
	傷者(人)	2,337	2,586	2,762	2,817	2,930	3,009	3,194	3,192
人口10万人以上の都市で人口10万人当たりの死者数全国順位(位)	50	29	28	61	74	101	20	15	30

その他経費

〔放置自転車対策事業費〕 34,615,675円 (その他特財 1,366,610円)
 撤去台数 放置禁止区域 1,189台 禁止区域外 1,393台
 〔違法駐車対策事業費〕 1,825,267円
 重点地域の巡回パトロールを委託 啓発指導件数 2,543台
 〔四日市市交通安全協議会補助金〕 3,400,000円
 〔交通災害共済事業特別会計繰出金〕 56,125円
 生活保護受給世帯に対する1/2補助を一般会計から繰り出し
 〔負担金〕
 三泗地区交通安全対策協議会 20,000円

(道路整備課)

〔交通安全施設等管理費〕 47,160,000円 (その他特財 144,000円)
 市内道路照明灯電気使用料

目2 交通安全施設整備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
159,472,000 円	159,234,391 円	99.9%	0 円	237,609 円

〔一般職給〕 1人

6,192,891 円

(道路整備課)

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	当該年度要望実施率	目標	47.0%	実績	57.6%
説明	市民誰もが安心して社会参加でき、快適に暮らせる社会環境を確保した歩行空間づくりのため、平成21年度を目処に堀木日永線、赤堀末永線、四日市中央線、金場新正線の一部において延長1,900mの歩道及び自転車歩行者道の整備を計画しており、このうち平成18年度は赤堀末永線を293m整備しました。また、市内全域において防護柵新設650.8m、カーブミラー新設129基、区画線新設2.5km等の交通安全施設について整備を進めました。				

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
堀木日永線外3線 (歩道・自転車歩行者道整備)	平成16年度～平成21年度	50.0%

〔交通安全施設整備補助事業費〕

50,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・赤堀末永線 (安島二丁目外3町地内)	委託料 道路詳細設計業務 工事費 L=293m W=22.0m 排水工 L=640.3m 舗装工 A=5,770 m ² 事務費	50,000,000	国庫支出金 市 債	27,500,000 10,100,000

〔交通安全施設整備単独事業費〕

109,234,391 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・子西八王子線 (西日野町地内)	工事費 歩道整備工 L=43m	6,301,050		
・日永八郷線 (東日野町地内)	工事費 歩道整備工 L=24.6m	3,911,250		

・その他 (市内一円)	工事費 歩道整備工 L=306.4m 防護柵設置工 L=650.8m 路肩整備工 L=293.8m その他交通安全 施設工 1式 事務費	99,022,091		
交通安全施設整備単独事業費 計		109,234,391		

項4 河川費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
694,119,000 円	525,302,674 円	75.7%	164,412,000 円	4,404,326 円

目1 河川総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
149,384,000 円	147,816,525 円	99.0%	0 円	1,567,475 円

〔一般職給〕 10人 76,262,184 円 (県支出金 2,900 円)

(河川排水課)

目的	河川・排水路等の適正な維持				
指標	河川維持補修率 (河川維持補修延長/河川全延長)	目標	25.1%	実績	26.6% (17年度 24.1%)
説明	災害等緊急時に河川・排水路・調整池等の能力が発揮できるよう重要度、緊急度を勘案しながら必要個所について維持管理に努めました。河川維持補修率については、効率的な発注に努めたこと、維持管理の必要な箇所増加に伴い維持管理予算を増額したことにより、目標を上回りました。				

〔河川等維持修繕費〕 42,256,330 円

市街化調整区域内の河川・水路の維持修繕
市管理河川

	河川数	管理総延長
市管理河川	93	119,653 m
うち準用河川	23	50,893 m

〔河川台帳整備事業費〕 3,360,000 円

準用河川鹿化川上流の河川台帳作成業務

〔樋門管理費〕 1,873,608 円 (国庫支出金 579,794 円)
(県支出金 652,470 円)

国、県より受託した樋門及びゲート10箇所及び市管理樋門及びゲート3カ所の管理業務

〔調整池管理費〕 13,766,550 円

市内 5 6 箇所の雨水調整池の管理

〔溜池維持修繕費〕 3,911,250 円 (その他特財 195,562 円)

池の谷池及び大門池の補修工事の実施

〔負担金〕 769,077 円

三重県河川協会等負担金

目 2 河川改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
544,735,000 円	377,486,149 円	69.3%	164,412,000 円	2,836,851 円

〔一般職給〕 2 人 14,343,756 円

〔明許繰越〕 58,267,000 円

〔準用河川改修事業費〕 35,700,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・朝明新川 (中村町及び大鐘町 地内) 河川改良事業と 合併施工	工事費 L = 51.0 m 橋梁工 1 基 (橋長 17.2 m 有効幅員 5.0 m) 護岸工 32.6 m	35,700,000	国庫支出金	11,900,000

〔高速道路関連事業費〕 14,820,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・伊坂町排水路改良 (伊坂町地内)	工事費 函渠工 L=129.6 m 集水柵工 2 箇所 側溝工 L=91.3 m 舗装工 A=725 m ² 事務費	14,820,000	県支出金	4,940,000

〔地方特定河川等環境整備事業費〕 7,300,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三滝川ふるさとの川 (久保田二丁目及び 野田二丁目地内)	工事費 張芝工 A=2743.8 m ² 客土吹付工 A=5078.5 m ² インターロッキング舗装工 A=760.0 m ² 芝保護舗装工 A=218.2 m ² 縁石工 L=944.3 m 自然石花壇工 1 箇所 ベンチ N=26 箇所 スツール N=20 箇所 事務費	7,300,000	市債	6,500,000

〔半谷川河川改良事業費〕

147,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・半谷川 (中村町、平津町及 び萱生町地内)	用地費 40.62 m ²	147,000		

〔河川改良事業費〕

300,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・朝明新川 (中村町及び大鐘町 地内) 準用河川改修事業と 合併施工	工事費 L = 51.0 m 橋梁工 1 基 (橋長 17.2 m 有効幅員 5.0 m) 護岸工 32.6 m	300,000		

(河川排水課)

目的	治水事業の推進				
指標	河川整備率 (準用河川の整備率)	目標	52.7%	実績	52.5% (17 年度 52.4%)
説明	治水事業は、市民の生命・財産を守るうえからも実施しなければならない重要な事業であり、本年度も準用河川改修事業、河川改良事業、排水路改良事業等を実施しました。河川整備率については、1 工事において事業実施に必要な借地の交渉に日時を要したことから繰越工事となり、目標を下回る結果となりました。				

〔準用河川改修事業費〕

158,700,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・米洗川中流 (別名六丁目及び大 字羽津地内)	委託料 調査登記測量 一式 工事費 L = 53.3 m 橋梁工 1 基 (橋長 12.3 m 有効幅員 4.0 m) 護岸工 53.0 m 用地費 26.97 m ² 事務費 (一部平成 18 年度明許繰越)	54,000,000	国庫支出金 市 債	18,000,000 34,200,000
・朝明新川 (中村町及び大鐘町 地内)	工事費 L = 235.1 m 護岸工 L=474.1 m 床固工 一式 補償費 物件移転補償 2 件 事務費 (一部平成 18 年度明許繰越)	80,700,000	国庫支出金 市 債	26,900,000 51,100,000
・萱生川 (中村町地内)	委託料 調査設計業務 一式 (三岐鉄道橋及び 道路橋) 事務費	24,000,000	国庫支出金 市 債	8,000,000 15,200,000
準用河川改修事業費 計		158,700,000		153,400,000

〔高速道路関連事業費〕

8,370,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・伊坂町排水路改良 (伊坂町地内)	工事費 函渠工 L=112.8 m 側溝工 L=77.5 m 集水枘工 N=4 箇所	8,370,000	県支出金 市 債	2,790,000 5,500,000

	舗装工 A=704 m ² 事務費 (一部平成18年度明許繰越)			
--	---	--	--	--

〔地方特定河川等環境整備事業費〕 5,550,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三滝川ふるさとの川 (川原町地内)	工事費 L = 70.5 m カーブブロック工 A=780 m ² 花壇工 N= 2 箇所 ベンチ工 N=10 箇所 事務費 (一部平成18年度明許繰越)	5,550,000	市 債	5,500,000

〔半谷川河川改良事業費〕 12,956,700 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・半谷川 (中村町及び平津町地内)	委託料 調査登記業務 一式 工事費 L = 68.1 m プレハブ水路工 (B2000×H1500) L=68.1 m 床版工(1型) 1 箇所 舗装工 A=204 m ² 鋼製スライドゲート設置工 1 門 用地費 101.55 m ² (一部平成18年度明許繰越)	12,956,700	市 債	12,300,000

〔三鈴川河川改良事業費〕 8,800,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三鈴川 (楠町南五味塚地内)	委託料 設計業務 一式 工事費 L = 79.3 m 張ブロック工 L=70.5 m ブロック積工 L= 8.8 m 事務費 (一部平成18年度明許繰越)	8,800,000	市 債	8,800,000

〔河川単独事業費〕 124,226,449 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・河川改良事業 市内一円	委託料 一式 工事費 一式 補償費 一式	37,820,124	市 債	35,900,000
・排水路改良事業 市内一円	委託料 一式 工事費 一式 補償費 一式	77,840,950	市 債	73,900,000
	市単独事務費	8,565,375		
河川単独事業費 計		124,226,449		109,800,000

〔県営事業負担金〕

616,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・環境整備 三滝川	負担金	616,000		

項5 港湾費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,611,850,000 円	1,611,670,488 円	100.0%	0 円	179,512 円

目1 港湾総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,611,850,000 円	1,611,670,488 円	100.0%	0 円	179,512 円

目的	四日市港が市民に親しまれる港になる				
指標	海上アクセス利用者数	目標	210,000 人	実績	173,598 人
説明	<p>名古屋港とともに指定されたスーパー中樞港湾四日市港の機能等の強化について、四日市港管理組合を通じて行うとともに、四日市港と中部国際空港（セントレア）を結ぶ海上アクセス事業を平成 18 年 4 月に開始しました。</p> <p>これに伴い、拠点となる浜園ターミナルの臨時駐車場増設や利用者の利便性向上を図ったほか、浜園さんばしフェスティバルなどのイベント等を開催するなど市民に親しまれる港づくりを推進しました。その結果、海上アクセス利用者数は運行事業者が目指した目標の 210,000 人には及ばなかったものの、一日当たり 476 人の利用があり、想定した 500 人/日をほぼ達成しました。</p>				

〔一般職給〕	1 人	12,300,448 円	
〔港湾事務費〕		451,062 円	
〔海上アクセスターミナル関連施設経費〕		97,675,508 円	（その他特財 10,258,500 円）
〔四日市港管理組合負担金〕	（特別負担金 19,511,470 円を含む）	1,499,234,470 円	
〔三重県港湾海岸協会負担金〕		350,000 円	
〔港湾都市協議会等負担金〕		119,000 円	
〔浜園さんばしフェスティバル負担金〕		1,540,000 円	

項6 都市計画費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,777,740,000 円	4,360,267,087 円	91.3%	352,670,000 円	64,802,913 円

目 1 都市計画総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
298,057,000 円	286,416,053 円	96.1%	0 円	11,640,947 円

〔一般職給〕 17人 138,784,819 円 (県支出金 3,921,718 円)
(その他特財 11,089,840 円)
〔嘱託職給〕 1人 2,701,929 円 (県支出金 2,701,929 円)

(都市計画課)

目的	計画的な土地利用を進める				
指標	土地利用規制誘導制度整備進捗状況	目標	調整区域の土地利用規制誘導策立案	実績	調整区域土地利用規制誘導制度設計の検討に着手
	市街化区域内人口比率		86.0%		86.1%
説明	平成 17 年度に都市計画審議会に設置した「土地利用検討委員会」及び「専門家会議」での協議を経て、平成 18 年度末には「四日市市の土地利用に関する提言」を得ました。また、本提言の検討と併せ、都市計画マスタープランの理念を踏まえ、土地利用を適正に規制・誘導していくための制度設計の検討に着手しました。 一方、市民自主運行バスの支援を行い、公共交通空白・不便地域の移動手段確保に努めました。				

〔委員報酬〕 711,000 円
・都市計画審議会委員 15 人
〔土地利用計画策定調査費〕 5,553,482 円
「四日市市の土地利用に関する提言」関連調査他
〔駐車場整備計画策定事業費〕 2,772,000 円
平成 5 年度策定の現計画の見直しに関する調査
〔景観計画策定事業費〕 493,500 円
〔地方バス路線維持費〕 36,015,000 円 (県支出金 7,305,000 円)
磯津高花平線、神前高角線、山城富洲原線 (年間利用者数 延べ 75,812 人)
〔市民自主運行バス支援事業費〕 3,600,000 円
生活バスよっかいち 年間利用者数 (延べ 25,288 人)

目的	市民主体のまちづくりが進むよう啓発・支援を行う				
指標	まちづくり構想の策定地区数	目標	3 地区	実績	2 地区 (その他 1 街区) (17 年度 2 地区)
説明	まちづくり市民活動の啓発・支援については、延べ 47 回の構想策定協議や説明会を地域と協働して実施しました。本町通り周辺のまちづくりについては、策定されたまちづくり構想の提案を受けました。平成 17 年度に構想策定を開始した三重地区・富田地区においては、継続して構想策定に向けた取り組みの支援を実施しました。				

〔まちづくり活動支援事業費〕 2,140,824 円

目的	都心居住を進める				
指標	中部地区の人口	目標	23,700 人	実績	23,713 人 (17 年度 23,499 人)
説明	諏訪新道第 3 地区において実施している敷地の共同化による優良建築物等整備事業については、建築物新築工事の補助を行いました。(平成 19 年度末完成予定)				

〔優良建築物等整備事業費〕 31,220,000 円(国庫支出金 15,540,000 円)
 〔まちなか居住促進事業費〕 955,500 円

目的	里山を市民の手で保全する活動を支援する				
指標	市民緑地制度による支援 団体数	目標	3 団体	実績	5 団体 (17 年度 2 団体)
説明	里山保全については、5 団体への活動支援を実施しました。平成 17 年度に開設した県地区の「岡山市民緑地」及び桜地区の「初瀬ビオトープの谷市民緑地」の 2 個所に継続支援を行うとともに、河原田地区、内部地区及び四郷地区において、市民緑地の新規開設に向けた支援を開始しました。				

〔里山保全事業〕 2,551,440 円

〔開発審査課 〔旧建築開発課〕〕

〔委員報酬〕 96,000 円(その他特財 96,000 円)
 ・開発審査会委員 7 人
 〔全国開発指導行政等推進・連絡協議会等負担金〕 114,000 円(その他特財 114,000 円)

開発行為の許可申請件数(都市計画法第 29 条)	113 件	(116 件)
完了検査件数	106 件	(126 件)

〔開発指導事務費〕 2,220,158 円(その他特財 2,220,158 円)

〔管理課〕

〔ふれあいモール維持管理費〕 5,407,126 円(その他特財 2,784,676 円)
 清掃・維持管理業務を委託 委託料 3,961,650 円 他光熱水費等
 〔近鉄高架下土地管理費〕 38,075,640 円(その他特財 7,083,151 円)
 土地使用料 33,716,267 円 他
 〔屋外広告物簡易除却事務費〕 4,488,123 円(県交付金 4,488,123 円)
 除却数 14,757 枚 うち除却ボランティア除却数 977 枚(7 団体 70 人)

目 2 土地区画整理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
648,066,000 円	612,066,000 円	94.4%	0 円	36,000,000 円

一般会計から土地区画整理事業特別会計に繰り出しました。(都市計画税充当額 88,522,000 円)

目 3 街路事業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,270,473,000 円	1,903,901,392 円	83.9%	352,670,000 円	13,901,608 円

〔一般職給〕 4 人 43,580,357 円

(都市計画課)

目的	円滑に移動できる交通体系にする(近鉄名古屋線川原町駅付近連続立体交差事業他)				
指標	近鉄連立進捗状況	目標	事業認可を受け る	実績	平成 19.1 月 事業認可取得
説明	<p>未永、本郷地区と橋北地区のまちの一体化を図るため、近鉄川原町駅付近の連続立体交差の事業化に取り組んできた結果、平成 19 年 1 月に三重県が事業認可を取得。平成 19 年度からの工事着手に目途がたちました。</p> <p>J R 四日市駅周辺活性化事業を促進するため、先行取得済の新貨物駅移転先用地の港湾との連携による新たな活用可能性を探るとともに、現在の J R 四日市駅舎の有効活用について検討を進めました。</p>				

〔連続立体交差事業負担金〕 65,250,000 円 (市債 61,900,000 円)

近鉄名古屋線連続立体交差事業に伴う三重県への負担金

〔連続立体化関連施設整備事業費〕 3,387,300 円

四日市関ヶ原線予備設計、高架下利用調査

〔JR 四日市駅周辺活性化検討〕 2,836,640 円

〔公社健全化事業費〕 32,324,026 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
J R 四日市貨物駅移 転用地取得事業	用地費 特別会計繰出金	32,324,026		

(道路整備課)

〔明許繰越〕

741,660,000 円

〔街路補助事業費〕

419,300,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔臨時交付金〕 ・千歳町小生線 (城西町地内)	用地費 A=668.12 m ² 補償費 物件移転補償 9 件 事務費	106,000,000	国庫支出金 市 債	160,182,000 47,900,000
・環状 1 号線 (垂坂町地内)	委託料 建物調査業務 用地費 A=1329.91 m ² 補償費 物件移転補償 18 件 事務費	185,240,000		
	地方道路整備臨時交付金事業費 (街路)計	291,240,000		208,082,000
〔まちづくり交付金〕 ・近鉄三岐富田駅前 広場整備事業 (富田四丁目地内)	委託料 用地測量業務 用地費 A=347.33 m ² 補償費 物件移転補償 6 件	128,060,000	国庫支出金	51,224,000

まちづくり交付金事業費 計	128,060,000		51,224,000
街路補助事業費 計	419,300,000		259,306,000

〔地方特定道路整備事業費（街路）〕

291,210,000 円

事業区分 （施工箇所）	事業内容	実施額	うち特定財源	
・千歳町小生線 （城西町地内）	用地費 A=620.67 m ² 補償費 物件移転補償 5 件 事務費	109,043,000	市 債	262,100,000
・環状1号線 （垂坂町地内）	用地費 A=132.53 m ² 物件移転補償 8 件 補償費 物件移転補償 1 件 事務費	109,213,000		
・阿倉川西富田線 （大字西阿倉川外3町地内）	委託料 建物調査業務 工事費 L=470.0m W=16.0m 排水工 L=638.0m 舗装工 A=7,736 m ² 用地費 A=39.69 m ² 補償費 物件移転補償 5 件 事務費	72,954,000		
地方特定道路整備事業費（街路） 計		291,210,000		262,100,000

〔街路単独事業費〕

31,150,000 円

事業区分 （施工箇所）	事業内容	実施額	うち特定財源	
・環状1号線 （垂坂町地内）	用地費 A=425.04 m ² 事務費	31,150,000	都市計画税	28,445,000

（道路整備課）

目的	街路の整備				
指標	街路の整備延長	目標	1,118 m	実績	1,118 m
説明	<p>快適な市民生活及び円滑な経済活動が行えるよう、市内の道路ネットワークを構築するため、幹線街路の整備に努めました。</p> <p>主要路線の中で、阿倉川西富田線が一部歩道を除き、平成18年5月に路線の供用を開始したことにより、平成18年度の実績を達成しましたが、一部路線において道路用地の取得が難航したために翌年度へ繰越しました。</p>				

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
阿倉川西富田線	平成 8 年度～平成 1 9 年度	9 9 . 2 %
千歳町小生線	平成 1 4 年度～平成 2 0 年度	8 2 . 7 %
環状 1 号線	平成 1 6 年度～平成 2 1 年度	3 5 . 9 %

〔街路補助事業費〕

791,380,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔臨時交付金〕 ・千歳町小生線 (城西町地内)	委託料 建物調査業務 調査登記業務 工事費 L=38.0m W=22.0m 排水工 L=38.0m 用地費 A=1,115.23 m ² 補償費 物件移転補償 10 件 事務費 (一部平成 1 8 年度 明許繰越)	277,280,000	国庫支出金 市 債	376,409,000 307,900,000
・環状 1 号線 (垂坂町地内)	用地費 A=1,953.77 m ² 補償費 物件移転補償 9 件 事務費 (一部平成 1 8 年度 明許繰越)	407,100,000		
	地方道路整備臨時交付金事業費 (街路) 計	684,380,000		684,309,000
〔まちづくり交付金〕 ・近鉄三岐富田駅前 広場整備事業 (富田四丁目地内)	委託料 詳細設計業務 調査登記業務 用地費 A=476.04 m ² 補償費 物件移転補償 3 件 事務費	107,000,000	国庫支出金 市 債	45,600,000 38,900,000
	まちづくり交付金事業費 計	107,000,000		84,500,000
	街路補助事業費 計	791,380,000		768,809,000

〔地方特定道路整備事業費(街路)〕

49,240,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
----------------	------	-----	--------

<ul style="list-style-type: none"> 阿倉川西富田線 (大字西阿倉川外3町地内) 	工事費 L=55.0m W=13.4m 排水工 L=185.8m 舗装工 A=845 m ² 用地費 A=121.21 m ² 補償費 物件移転補償 5件 事務費 (一部平成18年度 明許繰越)	49,240,000	市 債	49,200,000
---	---	------------	-----	------------

〔街路単独事業費〕

151,120,808 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
<ul style="list-style-type: none"> 千歳町小生線 環状1号線 阿倉川西富田線 その他 	委託料 測量調査設計業務 調査登記業務 建物調査業務 工事費 付帯工 用地費 A=644.32 m ² 事務費 (一部平成18年度 明許繰越)	151,120,808	市 債	26,000,000

〔県営事業負担金〕

2,833,333 円

- 富田山城線道路整備事業に伴う三重県への負担金

〔公社健全化事業費〕

63,869,285 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
堀木日永線	用地費 特別会計繰出金	34,113,308		
阿倉川西富田線	用地費 特別会計繰出金	1,326,455		
赤堀山城線	用地費 特別会計繰出金	6,210,932		
環状1号線	用地費 特別会計繰出金	17,852,528		
富田本町線	用地費 特別会計繰出金	1,004,551		
橋北中学校 (高浜陶栄線)	用地費 特別会計繰出金	3,361,511		
公社健全化事業費 計		63,869,285		

目 4 公園管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
442,583,000 円	441,238,584 円	99.7%	0 円	1,344,416 円

〔一般職給〕 5 人 50,892,328 円
 〔再任用職給〕 2 人 6,930,888 円

（都市計画課）

目的	市民の手により緑化の推進を行う				
指標	花と緑いっぱい事業参加 団体数	目標	4 7 団体	実績	5 4 団体 (17 年度 44 団体)
説明	花と緑いっぱい事業補助金については、公園や街路花壇で活動を実施する 54 団体に補助を行い、平成 17 年度の 44 団体から 10 団体増加しました。				

〔花と緑いっぱい事業費〕 9,679,114 円 (その他特財 9,239,984 円)
 〔緑化基金積立金〕 3,985,000 円 (その他特財 2,044,128 円)

（市街地整備・公園課）

目的	公園愛護活動の推進				
指標	公園愛護団体 数	目標	2 3 3 団体	実績	2 2 9 団体 (17 年度 220 団体)
説明	住民との協働による効率的な維持管理が行えるよう公園愛護団体結成の啓発に努めましたが、目標値を下回る結果となりました。				

〔公園愛護会育成費〕 公園愛護団体への清掃用具等の貸付
 2,853,472 円 (その他特財 1,183,189 円)

目的	公園及び街路樹の適正な維持				
指標	事故件数	目標	0 件	実績	0 件 (17 年度 0 件)
説明	安全で快適な公園の維持管理及び街路樹の健全な育成に努めました。				

〔公園施設管理費〕 334,797,296 円 (その他特財 3,932,270 円)
 公園の除草・清掃、公園樹木及び街路樹の剪定をはじめ公園施設全般の管理
 〔公園施設安全対策費〕 4,410,000 円 公園遊具の保守点検等
 〔公園施設維持補修費〕 25,906,525 円 公園施設の修繕、補修工事等

種別	開設箇所	開設面積	備考
公園緑地	3 9 5	2 8 8 . 1 h a	うち街区公園 3 3 3 箇所
街路樹	4 6 路線	約 1 0 , 0 0 0 本	四日市中央線 金場新正線 四日市西町線 外

その他経費

〔公園緑地協会負担金〕 120,000 円

目5 公園建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,118,561,000 円	1,116,645,058 円	99.8%	0 円	1,915,942 円

〔一般職給〕 2人 14,718,202 円

(市街地整備・公園課)

目的	公園及び緑地事業の推進				
指標	市民1人当たりの供用面積	目標	9.26 m ² /人	実績	9.24 m ² /人 (17年度 9.25 m ² /人)
説明	南部丘陵公園南ゾーンの見晴らしの丘にワイドすべり台を設置し、利便性の向上を図るとともに、野鳥の森に植樹を行いました。また、垂坂公園・羽津山緑地の整備推進のため、事業用地の取得を行いました。これらの取組みの結果、開発行為による公園の開設を含め5,108 m ² 増加したものの、人口の伸びが上回ったことにより市民一人当たり9.24 m ² の公園面積となりました。				

〔公園緑地整備補助事業費〕 226,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費 公園整備工 管理施設設置工 修景施設設置工 事務費	46,000,000	国庫支出金 市 債	23,000,000 20,700,000
・垂坂公園・羽津山緑地 整備事業 (大字羽津外地内)	委託費 用地測量委託 立竹木調査委託 境界測量委託 用地費 用地取得面積 18,104.6 m ² 事務費	180,000,000	国庫支出金 市 債	60,000,000 108,000,000
公園緑地整備補助事業費 計		226,000,000		211,700,000

〔都市公園等一体整備促進事業費〕 46,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費 管理休養施設工 修景施設設置工 委託費 南ゾーン測量設計委託	46,000,000	市 債	46,000,000

〔霞ヶ浦緑地跨道橋耐震化事業費〕 5,330,850 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・霞ヶ浦緑地跨道橋耐 震化事業 (大字羽津地内)	委託費 耐震補強設計委託	5,330,850		

〔公園緑地整備単独事業費〕

590,821,578 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・市内一円の公園緑地	工事費 委託費・調査設計	9,577,170	都市計画税	114,551,000
・大気汚染対策緑地償還金	羽津山緑地事業費償還 楠中央公園(公園緑地譲受費)	251,768,940 261,180,279		
・北勢中央公園建設負担金	県公共事業費負担金 県単独事業費負担金	52,400,000 6,500,000		
・単独事務費		9,395,189		
公園緑地整備単独事業費 計		590,821,578		

〔公社健全化事業費〕

248,492,630 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・富田中公園用地取得事業費	特別会計繰出金	44,237,913		
・南部丘陵公園用地取得事業費	特別会計繰出金	196,543,518		
・安島児童公園用地取得事業費	特別会計繰出金	7,711,199		
公社健全化事業 計		248,492,630		

項 7 下水道費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,697,469,000 円	8,697,469,000 円	100.0%	0 円	0 円

目 1 下水道整備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,697,469,000 円	8,697,469,000 円	100.0%	0 円	0 円

一般会計から公営企業下水道事業会計に支出しました。(都市計画税充当額 1,872,208,763 円)

〔負担金〕

・下水道雨水処理費 5,534,590,000 円

〔補助金〕

3,162,879,000 円

・下水道汚水処理費基準内 768,678,000 円

・下水道汚水処理費基準外 2,394,201,000 円

項8 住宅費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
640,069,000 円	576,736,309 円	90.1%	39,065,300 円	24,267,391 円

目1 住宅管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
502,493,000 円	479,617,083 円	95.4%	0 円	22,875,917 円

〔一般職給〕 9人 75,972,473 円 (その他特財 75,972,473 円)
 〔嘱託職給〕 1人 3,162,507 円 (その他特財 3,162,507 円)

(市営住宅課)

目的	市営住宅のバリアフリー化				
指標	高齢者・障害者対応住宅供給戸数	目標	266戸	実績	267戸 (17年度 261戸)
説明	既存住宅を改善することにより、高齢者対応住宅を5戸、車椅子対応住宅を1戸供給しました。				

〔高齢者・障害者向け改善事業費〕 21,167,895 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・高齢者・障害者向け改善工事 (三重団地外)	工事費 高齢者向5戸 障害者向1戸	21,167,895	国庫支出金	7,874,000
			その他特財	9,330,000

目的	市営住宅使用料の滞納整理				
指標	現年度収納率	目標	90.00%	実績	90.81% (17年度 90.17%)
説明	家賃滞納問題については、入居者が低額所得者であるという実情を考慮し、個々の状況を勘案しながら納付指導を行うとともに、その徴収に当たっては督促・呼び出し・訪宅等の方法をもって厳しく対処した結果、目標以上の成績を挙げることができました。				

〔市営住宅維持補修費〕 129,810,536 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・一般修繕	雨漏り、水漏れ修理 下水管貫通清掃、樹木の剪定等	65,172,314	その他特財	129,810,536
・空家修繕	空家の修理	57,909,180		
・市内一円	保守点検委託、保険料等	6,729,042		
維持補修費 計		129,810,536		129,810,536

〔市営住宅整備事業費〕

57,083,880 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・サッシ改良工事 (坂部が丘団地)	木製建具をアルミ建具に取替	19,582,500	国庫支出金	18,440,000
・電気容量改良工事 (坂部が丘団地)	20Aから30Aに改良	10,395,000	その他特財	38,643,880
・バリアフリー化等工 事 (高花平団地)	中央集会所改修	10,500,000		
・グループホーム改修 工事 (高花平団地)	グループホーム対応への改修	3,928,050		
・市内一円	三重団地手摺塗装外	12,678,330		
整備事業費 計		57,083,880		57,083,880

〔市営住宅火災警報器設置事業費〕

24,120,274 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・住宅用火災警報器設 置業務委託 (市内全団地)	委託料 寝室・階段に設置	24,120,274	国庫支出金	13,217,000

その他経費

〔委員報酬〕	110,600 円 (その他特財	110,600 円)
・市営住宅入居者選考委員会委員 6人		
〔市営住宅整備基金積立金〕	2,545,800 円 (その他特財	2,545,800 円)
(平成9年12月設置 平成18年度末現在高 198,493,124 円)		
〔住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金〕	12,905,000 円	
〔負担金〕日本住宅協会	50,500 円 (その他特財	50,500 円)
〔管理人報償金〕	3,850,560 円 (その他特財	3,850,560 円)

(都市計画課)

〔特定優良賃貸住宅供給促進事業費〕

12,772,780 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
家賃対策補助 (ハレザ 末永外4団地)	対象戸数 47戸	3,826,780	国庫支出金	1,870,000
			県支出金	923,000
建設費利子補給 (ハレザ 末永外2団地)	補助金	8,946,000	県支出金	4,472,000
特定優良賃貸住宅供給促進事業費 計		12,772,780		7,265,000

〔住宅整備資金融資貸付金〕

123,561,000 円(その他特財 123,561,000 円)

目2 住宅建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
137,576,000 円	97,119,226 円	70.6%	39,065,300 円	1,391,474 円

〔一般職給〕 2人 14,330,542 円

（市営住宅課）

目的	市営住宅の安全確保				
指標	耐震補強戸数 (H16以降累計)	目標	112戸	実績	64戸 (17年度64戸)
説明	耐震診断により、安全性の高い基準を満たすために耐震補強が必要とされた住宅のうち、長期使用中層耐火構造の住宅（茂福団地の2棟48戸）に対し耐震補強を行いました。契約の遅れにより、翌年度繰越となりましたが、平成19年5月末には完成させ、目標を達成しております。 上記の耐震補強以外に、老朽市営住宅について必要な耐震対策工事を実施しました。 (26戸)				

〔市営住宅耐震補強事業費〕 26,020,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・耐震補強工事 (茂福団地)	工事費 鉄筋コンクリート造4階 建の耐震補強工事 (一部平成18年度 明許繰越)	26,020,000	国庫支出金 市債 その他特財	10,960,000 9,600,000 5,460,000

〔老朽市営住宅耐震対策事業費〕 11,267,120 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・耐震対策工事 (高花平団地)	工事費、委託料 コンクリートブロック造 2階建住宅の耐震対策工 事等	11,267,120		

〔曙町市営住宅建設事業費〕 1,969,614 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・用地確定業務委託	委託料	1,969,614	国庫支出金	1,159,000

〔永宮町市営住宅除却事業費〕 43,531,950 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・永宮町の住宅除却	工事費、委託料 木造 20戸 コンクリートブロック造 64戸	43,531,950		